

聴講
無料

～Vision60セッション:60年先の未来を語ろう～

未来60年賞チャレンジコンテスト

最終選考会

開催日時

2026年3月10日(火) 10:30～15:15

開催場所

九州産業大学 1号館 S201(総合大会会場)

FINALISTS

8人のファイナリスト



山崎 雄大 (東京科学大学)

脳と世界を結ぶテラヘルツBMI:侵襲・高容量インターフェースによる未来型コミュニケーション基盤



別府 翔平 (KDDI総合研究所)

量子で視て、量子で考える世界 ～地球規模の全量子分散処理に向けて～



井上 飛鳥 (NTT)

誰もが使える光量子チッププラットフォームの実現 —光が照らす持続可能な情報社会への道—



鳴海 紘也 (慶應義塾大学)

折紙の自動変形により大量生産可能な立体回路



萩原 圭島 (中部大学)

生体・デジタル完全同期:分子通信による「リアルタイム・バイオツイン」



山口 彪斗 (北海道大学)

痛みを知るアバター:侵害受容フィードバックによる自己保護トレイグジスタンス



松浦 未来 (中部大学)

コグニションガイド ～教える人の思考を冒険するクラス～



菊澤 百々菜 (中部大学)

HLE Floor:歩くだけで健康寿命を貯金する都市床

【問合せ先】電子情報通信学会未来60年賞事務局
mirai60@ml.ieice.org

未来60年賞

総合大会



JUDGES

審査委員会

未来60年賞審査委員長



天野 浩
(名古屋大学)

未来60年賞の審査委員長を仰せつかりました名古屋大学の天野です。ファイナリストに選ばれた皆さんは、60年先の社会を構想する勇気と独創性を既に示しています。本賞が評価するのは完成度だけではなく、未知に踏み出す覚悟と挑戦の質であると思っています。皆さんは、前例の無い、いわばどれが正解かわからない問いに向き合う挑戦に出発することになります。失敗を恐れず、自らの信念と言葉で未来を描いてください。皆さん一人ひとりの挑戦が、次の60年を切り拓く力になることを期待しています。

未来60年賞委員会委員長



辻 ゆかり
(電子情報通信学会 次期会長)

このたび、36歳未満の若手研究者・技術者を対象とした、未来志向の研究提案を顕彰・支援する『未来60年賞』を創設しました。初年度、かつ、短い応募期間にも関わらず、多くの素晴らしいアイデア・企画をご応募いただいたことに、まずは心より御礼申し上げます。選ばれしファイナリスト8名の皆さん、3月の最終審査会では、是非、あなたの“熱い想い”を審査員と大勢の聴衆にぶつけてください。皆で、明るい未来に想いを馳せる日にしましょう！



大竹 尚登
(東京科学大学)



岡野原 大輔
(プリファードネットワークス)



木下 真吾
(NTT)



笹瀬 巖
(慶応義塾大学)



永妻 忠夫
(東京大学)



間下 直晃
(ブイキューブ)



益 一哉
(産業技術総合研究所)



森川 博之
(東京大学)



植松 友彦
(電子情報通信学会会長)



山中 直明
(未来60年賞委員会副委員長)

